

2020年 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 統合分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|--|---------------------|--|---------|--------------|--------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 医療安全 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | |
| 担 当 教 員 | 日笠 展子 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 医療安全における看護の責務・役割及び事故分析の方法を理解する。看護・医療における「安全」を理解し、日常の看護・医療の場で発生しやすい事故について認識を深め、事故防止の考え方や知識を学ぶ | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 小テスト、ミニレポート並びに演習参加態度、筆記試験で総合的に評価。 | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 医療安全 患者の安全を守る看護の基礎力、臨床力 学研 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 講義前に事前課題を提出する。また、講義後は小テスト、レポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 医療安全に関する新聞記事やニュースに関心を持ち、過去の事例を調べておく | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第 1 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 医療安全を学ぶことの重要性・医療安全の考え方の変化について説明 できる | | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 医療安全を学ぶ意義 医療安全に関わる動向 医療安全の対象 医療安全に関わる基礎知識 | | | | |
| 第 2 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 看護職の法的規定と医療安全を学び説明できる | | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 看護倫理と医療安全 看護師の法的規定 看護業務の変遷と安全管理 | | | | |
| 第 3 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 医療安全への取り組みを学び説明できる | | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 匡の医療安全への取り組み 看護職能団体の取り組み 医療の質の評価 | | | | |
| 第 4 回 | 授業を 通じての 到達目標 | ヒューマンエラーのメカニズムを、人間の基本特性とエラーを誘発しやす い環境との関係で説明できる | | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う | |
| | 各コマに おける 授業予定 | ヒューマンエラーとは 人間特性 エラーを誘発しやすい環境 | | | | |
| 第 5 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 事故分析の考え方と具体的な方法について説明できる | | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 事故の構造 事故分析に重要なこと 具体的な分析手法の特徴 | | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|--------------|--------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | インシデント報告の意味と必要性を説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | リスク低減の考えかた エラーブーループ リスクマネジメント | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療安全管理者・TQMについて学び説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 医療安全管理者の配置とその意義・業務内容 TQM | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 看護業務を行う際の特性とリスク事故分析方法を説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 看護業務の特徴的な環境とリスク 原因と結果分析の重要性 事故分析方法 医療事故の種類 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療事故の要因と予防策を説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 誤薬・輸血事故 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療事故の要因と予防策を説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 患者取り違え | | |
| 第11回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療事故の要因と予防策を説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 転倒・転落 | | |
| 第12回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療事故の要因と予防策を説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 針刺し 誤嚥 | | |
| 第13回 | 実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療事故の要因と予防策を説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 皮膚障害 異物遺残 | | |
| 第14回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療事故の要因と予防策を説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 医療機器のトラブル チューブ類のトラブル | | |
| 第15回 | 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策、医療事故後の対応について学び説明できる | 配布資料 テキスト | 配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染の危険を伴う病全体への曝露 感染に対する標準予防策と感染経路別予防策 医療機器の使用に関わるもの 医療事故後の対応 | | |